

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date		2026 年 6 月 30 日	
ふりがな 氏 名 / Name		学生番号/ Student ID	
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	総合科学部総合 科学科	学部/研究科 School/Graduate School	2 年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	■HUSA □USAC		
留学先大学 Host University	OP Jindal Global University (JGU) 渡航後 9 月までは Tilak (国名/Country：インド) Maharashtra Vidyapeeth (TMV)		
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	Jindal Global Law School (JGLS)		
在籍身分 Status at Host University	Exchange Student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)		
留学期間 Period of Program	2025 年 8 月 1 日 ~ 2026 年 5 月 31 日 (YY/MM/DD) (YY/MM/DD)		

1. 留学するまで / Preparation for the Program	
留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	・インドに暮らしてみたかったから。 ・専攻学問をはじめ、文系科目を中心に学べる大学がよかったから。
留学準備を始めた時期（応募する 何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	2024 年 10 月（3 か月前）
事前準備について(どのような準備 をしたか、しておけばよかった か) Preparation Completed Prior to Study Abroad	・渡航先の国や大学の情報を調べる。 ・英語の単語学習と現地語学習をしておけばよりよかったと思う。

2. 渡航について / Visa and Flight Information	
ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type：学生ビザ
	ビザ申請先 / Location of Visa Application：在阪インド領事館
	提出書類 / Required Documents：パスポートコピー、証明写真、住民票、渡航大学の証明書、保護者の残高証明書、保護者同意書など
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process：2 週間（急いでもらったので通常より早いと思います）
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	渡航先大学との連携
出国年月日/ Date of Departure	2025 年 8 月 10 日 (YY/MM/DD)

経路（往路） / Route (Outward)	シンガポール、デリー経由	
現地での出迎え Pick-up Service	☐ 有/Yes（大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others） ☒ 無/No	
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	☐ 有/Yes ☒ 無/No	有の場合 期間/Period : _____ - _____ (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation
帰国年月日 / Date of Return	2026 年年 5 月 22 日 (YY/MM/DD)	
経路（復路） / Route (Return)	タイ経由	

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount		円/yen	
	内訳 Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)		円/yen
		ビザ申請手数料/ Visa Application Charge		円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge		円/yen
		保険料 / Travel Insurance		円/yen
		教材費（授業料以外の学費） / Learning Material (Extra Tuition Fee)		円/yen
		宿舍費（住居費） / Accommodation Fee		円/yen
		光熱費 / Utility Cost		円/yen
		食費 / Meal Cost		円/yen
		通信費（インターネット・携帯） / Internet, Phone		円/yen
		交通費（宿舍～大学間） / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)		円/yen
		交際費 / Social Expenses		円/yen
		その他 / Others (費)		円/yen
		(費)		円/yen
(費)		円/yen		

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について（カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等） / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	• Ethnographies of the World • Indigenous Knowledge Traditions • Psychology of Religion and Spirituality • Bombay to Bollywood; Hindi Cinema's Past and Present • Anthropology of Music and the World • Films and Caste • Queer Studies: Foundation and Contexts • Japanese (TMV) JGU では、選択科目は一コマ 2 時間を週に 2 回、必修科目は一コマ 3 時間を週に一回。 TMV では、朝の 10 時～2 時半まで。 JGU: 履修形態は対面、講義形式。ディスカッションやプレゼンテーション
--	---

留学先国の医療事情（日本と比較して） Difference in Medical Service (Compared to Japan)	病院に通院していないので直接見たものではないですが、聞いた話によれば、日本と比較すると衛生管理が劣るそうです。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	・生水は飲まない（露店や安食堂などでは氷やジュースにも注意。一定以上の家庭やレストランでは浄水器が普及しているので、そんなに神経質にならなくても大丈夫かと思います）。 ・狂犬病に注意する。 ・スケジュールを詰めすぎない。 ・大気汚染に対策が必要（マスクなど）。 ・しっかり休息をとる。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
・むやみに話しかけてくる人は基本的に警戒する。 ・一人で行動しない。 ・現地の友人、知り合いができればどんどん頼る。 ・知っている現地の人たちの言うことは聞く。	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
・塩分、油分過多の食事が多いので（特に北インド）、食べ過ぎない。 ・「これならいつでもどんな状況でも基本的に食べられる」という軽食をもっておく（バナナ、ヨーグルトなど現地で購入可能なもの）。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
・紫外線に注意。 ・暑い季節でも、肌の露出はなるべく避ける（女性は特に・たしなみ的に）	
(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
JGU では、ホットシャワー、ジム、売店、グラウンドなどの設備が整っており、インターネット、Wi-Fi の環境も問題なかった。断水もなく停電もすぐに復旧されるので、不便に感じたことはない。 TMV に在籍していた時は、滞在先のホステルにおいて、断水、停電は日常的であり、復旧もいつになるかわからないことが常で、ホットシャワーの供給も安定的ではなかった。	
(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
・友だちの友だちとして紹介されて知り合う。 ・イベントと一緒に参加して仲良くなる。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
・左手は使わない。 ・目上の人に敬意を払う。 ・現地の異性の人にはなれなれしくしない。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?	

- なくして困るものは持って行かない。
- 日本での常備薬、体温計、ばんそうこう等、医療系は持って行く。

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2028 年 3 月 (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2028 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☐ 4 年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☐ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	3 年、今後卒業後の進路について検討予定
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	単位交換とは言え交換可能な単位は少なくなるので、留学前になるべくたくさんの単位 を取っておくと、帰国後単位取得の制限なく学校に戻れるかなと思います。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細 (出版社, URL 等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
地球の歩き方 インド		インド国内の旅行で役立った。

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

どれだけ留学経験者の意見や体験を聞いて参考にしても、自分の留学は前例がなく、自分の身に起こる留学は自分だけのものなので、一つひとつの出来事を消化していくことで「留学をした」と言えるようになるのかなと思います。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

• 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:

- ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
- ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
- ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
- ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか（将来のキャリアパスも含めて） / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?

• 写真を2〜3枚程度、貼り付けてください（写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい）。

Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

結局なにもわからなかった、というのが留学を終えての正直な感想です。インドはとても広くて、人も文化も考え方も暮らしもすごく多様で、到底つかみきれないまま、かろうじてふれることができたのは本当に表層的な部分だけで、留学生活が終わったなと感じています。どうだったか、インドはどうなのかと問われて「インドはこうでした」と語れるほどにはなにも知らないし、私が話せるのは私がみたほんの一面だけで、それを「インド」と一般化して語ってはいけなさと、自戒も含めて思います。

インドに生活するなかで最も印象的だったことは、貧富・身分の差です。留学中に知り合ったのは多くが、特に暮らしに困ることがない人たち、もしくはとても贅沢な暮らしをしている人たちでした。そういう人たちとかかわりながらインドという国を過ごす一方で、街中に物乞いや道路のわきで寝ている人がたくさんいたり、友人たちが「使用人」をもっていたりする事実を目の当たりにしました。貧しい人に食べものや金銭を与え、使用人に礼儀を尽くす人もいれば、彼らを無視したり、命令したり、差別を明らかに表す横柄な人もいました。しかし総じて、彼ら（貧富・身分の上下がある人たち）の世界は異なり、互いに交わらないようであり、そのことをどちらの立場もがごく自然に受け入れているようでした。もちろん貧富や身分の差に不満や違和感をもつ人もいるのですが、少なくとも私がみた限りではそうであるように見え、その態度が私にはとても不思議でした。

留学の成果としては、留学を決定した理由でもある「インドに住めたこと」が一番大きいです。インドのなかで生活してみたい、というのがインド留学の動機なので、どこまで深く現地に入って暮らせたかはさておき、留学の動機を達成できたことはよかったと思います。

留学前と比較して成長した点は、英語力と、必要以上に遠慮しても仕方がないと知れたことです。知り合った人はたいいてい英語が話せたこと、ルームメイトがヨーロッパからの留学生であったことで、毎日の使用言語は基本的に英語が大半だったので、話せる英語力は成長したと思います。また、インド人やヨーロッパの人たちなど、かかわった人たちには「言葉の裏を察する」や「周囲との調和を優先して自分の希望を主張しない」などの習慣があまりなく、とりあえず正直なところを言うことが求められているし、遠慮の言葉は相手と状況を混乱させるだけでなににもならないということを感じたので、過剰な遠慮や申し訳なさを出すことをやめようと努めたのは、自分を変化させようとしたという点で成長と言えるかなと思います。

将来は外国にかかわることをできればと漠然と考えています。今回のインド留学が自分にもたらした影響や変化をまだ俯瞰的にとらえられてはいませんが、今後の進路においてなにか思考や実践のきっかけや、それらを深めるものとして作用するといいなと思っています。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、留学交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by Global Exchange Group.